

第1展示室

国重要無形民俗文化財

加藤栄三・東一 鶺鴒を描く

平成28年 6月28日(火)―9月19日(月・祝)



「鶺鴒」 加藤 栄三

第2展示室

それぞれの画家の心に映った

それぞれの鶺鴒

平成28年 6月28日(火)―9月19日(月・祝)



「鶺鴒」 江崎 寛友



「長良川」 長縄 士郎

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(金華山口―ブウェー駅横) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間：午前9時―午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休 館 日：月曜日【7月18日(月)、8月15日(月)、9月19日(月)は開館】7月19日(火)

観 覧 料：高校生以上300円(団体240円) 小中学生150円(団体 90円)

※下記の方は観覧料が無料となりますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

①岐阜市在住の70歳以上の方

②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方とその介護者1人

③岐阜市内の小中学生

④家庭の日【7月17日(日)、8月21日(日)、9月18日(日)】に入館する中学生以下の方とその家族の方

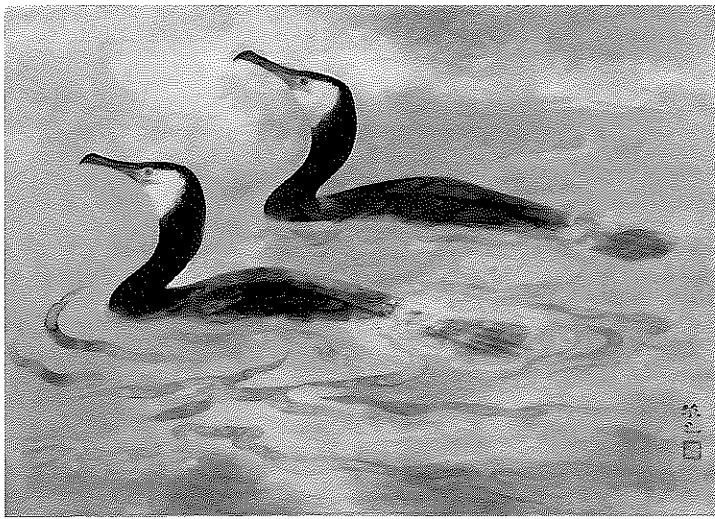
見る人々を幽玄の世界へと誘う鵜飼は、多くの人々に親しまれ悠久のときを越え、営々と受け継がれてきました。国重要無形民俗文化財にも指定され、市民の誇りであり、かけがえない岐阜市民共有の財産となっています。鵜飼は、多くの画家の心をとらえ作品として描かれてきました。本展では収蔵作品の中から選抜き展示します。

第1展示室

国重要無形民俗文化財

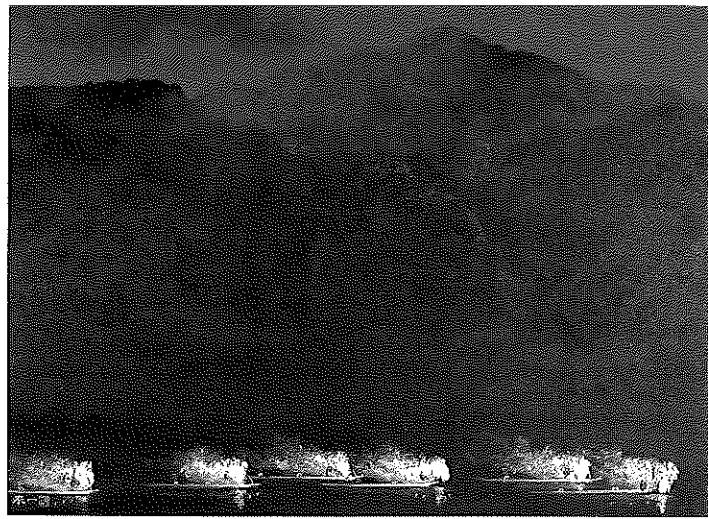
加藤栄三・東一 鵜飼を描く

平成28年 6月28日(火)ー9月19日(月・祝)



「鵜飼」加藤 栄三

岐阜市美殿町出身の日本画家：加藤栄三・加藤東一は、故郷への思い入れが強く、たびたび帰郷し鵜飼をモチーフに多くの作品を描きました。鵜飼について二人は「芭蕉の句ではありませんが、豪華絢爛とした後に、火が消えた、あのさみしさと華やかさの二つがドラマチックな感じがします。華やかなれば華やかほど、ふっとそれが消えた時の、その裏側にある悲しさ、そんなものが描けたらと思います。画室にいても瀬の音が聞こえてくる。」と語っています。展示作品から、鵜飼に対する二人の思いを感じとってください。



「総からみ」加藤 東一

第2展示室

それぞれの画家の心に映った それぞれの鵜飼

平成28年 6月28日(火)ー9月19日(月・祝)

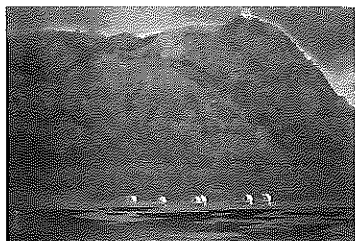
所蔵作品の中から、多くの画家が描いた鵜飼の作品を選抜き展示します。鵜飼が、いかにそれぞれの画家の心に映ったか、展示作品をとおして、その思いを感じとってください。

◆展示作家

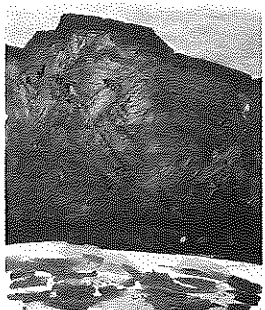
- 日本画：石原進、岡田春生、片桐乙日子、加藤栄三、加藤東一、久芳道信、長縄士郎
- 洋画家：江崎寛友、熊谷守一、坂井範一、村瀬徹
- 彫刻家：大須賀力
- 写真家：飯島幸永
- グラフィックデザイナー：加藤周三、加藤孝司、狭間壽朗 [50音順]



「鵜飼」熊谷 守一



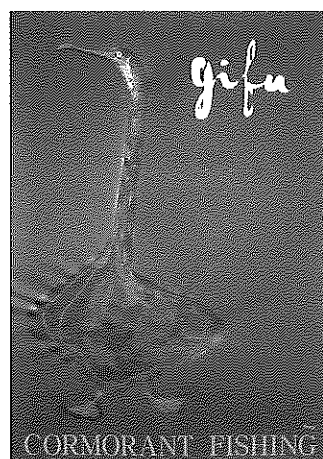
「鵜飼」久芳 道信



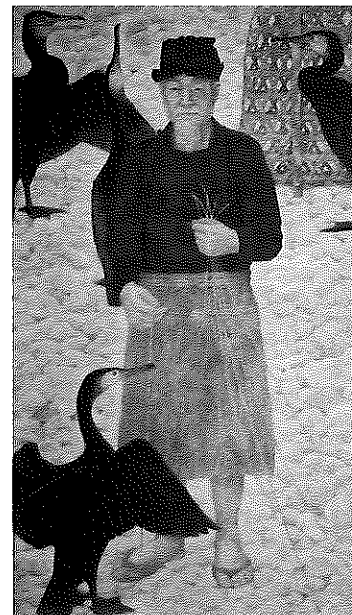
「鵜飼」坂井 範一



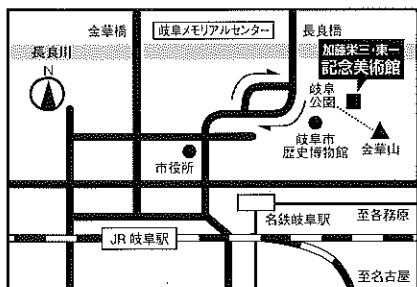
「鵜飼」村瀬 徹



「鵜飼」加藤 孝司



「鵜飼」石原 進



交通案内

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きバスで「岐阜公園・歴史博物館前」で下車(所要時間約15分)・徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェー駅横)

駐車場

岐阜公園北側の場外駐車場(有料)をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

岐阜市歴史博物館分館
加藤栄三・東一記念美術館

貴方も友の会会員になってみませんか!

**岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館
友の会 会員募集**

—文化の時代 心に潤いと豊かさを—

特典

- 会報の配布、各種催しもの案内が受けられます。
- 展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- 会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。